

## 実践地域医療論

責任者・コーディネーター	創剤学講座 松浦 誠 講師		
担当講座・学科(分野)	創剤学講座、臨床薬剤学講座、外科学講座		
対象学年	6	区分・時間数	講義 18 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

高齢化社会を迎え地域で支える医療体制が必要とされ、地域医療における薬剤師の役割は大きく変化している。実践地域医療論では、在宅医療において薬剤師がチームに参画し適切に支援できるように、在宅患者のケアと薬剤師の果たす役割に焦点を置き、必要な知識を習得し応用できる実践力の基礎を身に付ける。

・一般目標（GIO）

地域医療を理解し在宅医療を支える薬剤師になるために、在宅医療に関わる職種と役割を理解するとともに在宅医療に必要な知識や技能を習得する。また、必要とされる医療体制とその背景、制度・政策等、さらには災害医療における薬剤師の役割についても学ぶ。

・到達目標（SBO）

1. 地域調剤薬局の役割と在宅療養支援を説明できる。
2. 訪問薬剤管理指導業務を説明できる。
3. 在宅医療に関わる職種の役割を概説できる。
4. がんの緩和ケアを説明できる
5. 服薬支援を説明できる。
6. 災害医療における薬剤師の役割を概説できる。
7. 医療コミュニケーションを理解する。
8. 日本の医療制度と地域の医療体制を説明できる。
9. 薬剤経済学とジェネリック医薬品について説明できる。

・講義日程

(矢) 東 201 2-A 講義室、東 202 2-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/18	木	2	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	在宅医療において薬剤師がチームに参画し適切に支援できるように、在宅患者のケアと薬剤師の果たす役割について講義する。
4/23	火	2	創 剤 学 講 座	木村 幸博 非常勤講師	在宅医療の実際（医師） 在宅医療に関わる医師の役割について講義し、在宅医療チームへの理解と意義について学ぶ。

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/30	火	2	創剤学講座	長井 貴之 非常勤講師	訪問薬剤管理指導業務の実際（薬剤師） 地域調剤薬局の役割と在宅療養支援について講義し、訪問薬剤管理指導業務の実際について理解する。
5/8	水	2	創剤学講座	山崎 幸枝 非常勤講師	在宅看護の実際（看護師） 在宅医療に関わる看護師の役割について講義し、在宅医療チームへの理解と意義について学ぶ。
5/14	火	2	創剤学講座	伊藤 美穂子 非常勤講師	在宅栄養管理の実際（栄養士） 在宅医療に関わる栄養士の役割について講義し、在宅医療チームへの理解と意義について学ぶ。
5/21	火	3	外科学講座	木村 祐輔 講師	がんの緩和ケア がん緩和ケアについて講義し、がん緩和ケアチームにおける薬剤師の役割と意義について学ぶ。
5/28	火	2	創剤学講座	松浦 誠 講師	服薬支援と簡易懸濁法 在宅ケアにおける服薬支援について講義し、代表例である簡易懸濁法について理解を深める。
6/4	火	2	創剤学講座	松浦 誠 講師	災害医療と薬剤師 東日本大震災での経験をもとに災害医療における薬剤師の役割について講義しその役割について理解する。
6/11	火	2	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	医療コミュニケーション 医療に必要なコミュニケーションスキルについて理解する。
6/18	火	2	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	薬剤経済学-日本の医療と医薬品をめぐる環境変化 日本の医療制度と地域の医療体制について講義し医療体制とその背景、制度・政策等について理解する。
6/20	木	2	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	薬剤経済学-ジェネリック医薬品の評価と課題 ジェネリック医薬品の評価と課題について講義しその意義について理解する。
6/25	火	2	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	薬剤経済学-薬剤経済学的手法と応用 薬剤経済学的手法と応用について講義し、薬剤経済学について理解する。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	地域医療薬学	大和田 榮治 監修	京都廣川書店	2011
参	Pharmaceutical Communication	日本ファーマシューティカル コミュニケーション学会	南山堂	2007
参	薬学生のための薬剤経済学	奥村 勝彦 他	廣川書店	2010
参	簡易懸濁法Q & A Part1 基礎 編 第2版	倉田 なおみ 監修	じほう	2009
参	薬剤師のための災害対策マニ ュアル	日本薬剤師会 編集	薬事日報社	2012

・成績評価方法

講義の出席状況、定期試験、小テスト、レポートなどから総合的に判断する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（Apple MacBookPro）	1	スライド投影のため